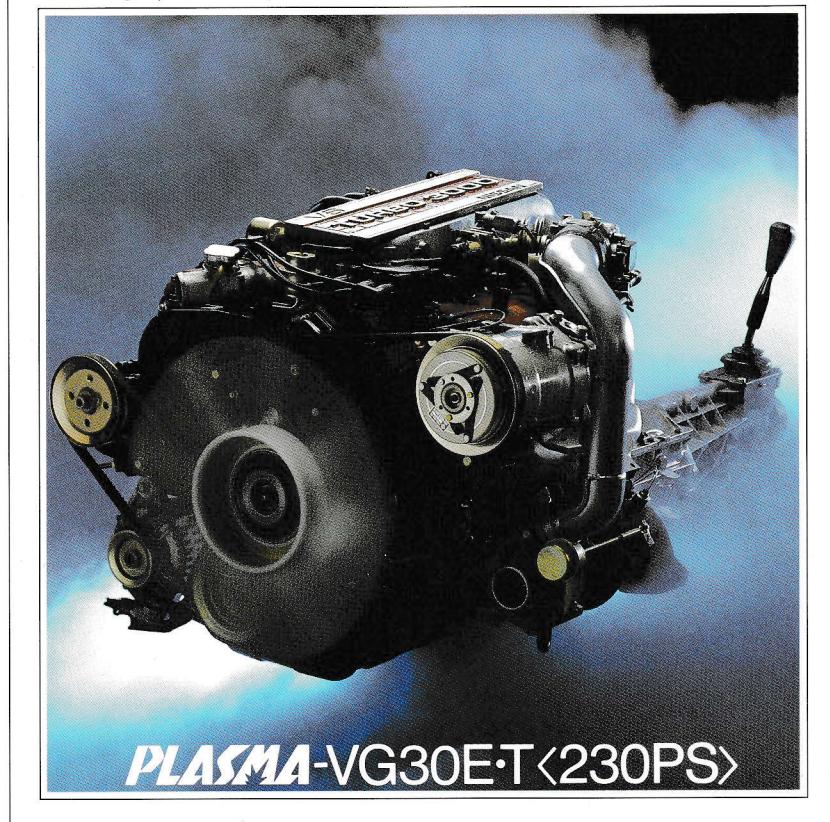


いま、空前の230PS——
V6ターボ、《プラズマ》VG30E・T登場。

NISSAN
PLASMA

日産の新世紀エンジンシリーズ、プラズマ

1969年秋のセンセーショナルなデビュー以来、数かずの神話と伝説を刻みつづけてきたフェアレディZが、いま、二度目のフルモデルチェンジによって、まさに、そのクライマックスを迎えている——。デビュー以来14年。世界を駆けぬけてきたフェアレディZは、いつの時代にも、速く、美しいクルマであった。そして、つねに時代のテクノロジーに先行し、最先鋭の走りを見せてくれた。なぜなら、まさしく、その一点にこそ、フェアレディZのアイデンティティがあり、「Zの哲学」^{フローフィー}が存在したからである。「つねに、何よりも美しく、何よりも速く、何よりも爽快であれ」とこれこそが、我々が秘かに「Zスピリット」と呼び、世界に向って誇ってきた。フェアレディZの心であった。走る意志そのものをフォルムに変えたともいえる美しいウェッジ・シェイプのスタイル。世界を舞台に、数かずの大レース、大ラリーを席巻してきた、



PLASMA-VG30E-T<230PS>

高度な動力性能と走行性能。
ロングツーリングにおける快適性や、
2by2、リヤラゲッジルームなどに
代表される、
すぐれたユーティリティ……
「新しい時代のスポーツカー」をめざした
これら、Zの設計理念は、
内外の専門家の間でも高く評価され、

過去、数多くの自動車賞を獲得。
また、その「トータル・パフォーマンス」の優秀性は、
スポーツカーを愛する世界中の男たちの血をわかせ、
深く、熱い感動をあたえつづけてきた。
誕生以来のフェアレディZの生産累計は何と1,000,000台を越え、

そのうち輸出累計は実際に80万台を越える台数を数える。(1983年)
これは単一のスポーツモードで世界にも例のないすぐれた記録であり、世界のいかなる名車もなし。フェアレディZだけの栄光、いかにフェアレディZが、広く世界に愛され、共感されてきたかがお解かります。いま、フェアレディZは、230馬力のハイパフォーマンスを携え、さらに、この最強のボテンシャルにふさわしい最強のシャシー、そして、極めて美しい空力スタイルをともなっています。再び、男たちの前に雄姿を現す。その全身には、ニューZの新たに精練された独自のユニットが、ぎっしりと詰め込まれていて、それらは全て、あの、たぎるような走りへの意欲を燃やします。「Zスピリット」のために……世界最速を誇る、欧州の名車たちをも凌駕する、誇らしげに用意された。いま、フェアレディZは、まさに、そのクライマックスのなかで、



PLASMA《プラズマ》——

日産が新世紀に向って新開発した高性能エンジンシリーズへのネーミング。『PLASMA』—— Powerful & economic, Lightweight, Accurate, Mighty, Advanced engine…… PLASMA《プラズマ》は、先進のテクノロジーと最新のエレクトロニクス技術を組み合わせた、日産の新世紀エンジンシリーズに与えられた称号である。